

# 孤立 出産 捨てられる子

## 早朝へその緒ついたまま



みんなを守る

赤ちゃんのそばに手紙が置かれていた。母親の実名や、母親が考えたと思われる赤ちゃんの名前も書かれていた。母親の女性(27)と、内縁関係にある男性(34)は、その日のうちに隣の市で見つかり、保護責任者遺

## 4年58人 10人死亡 本社調査

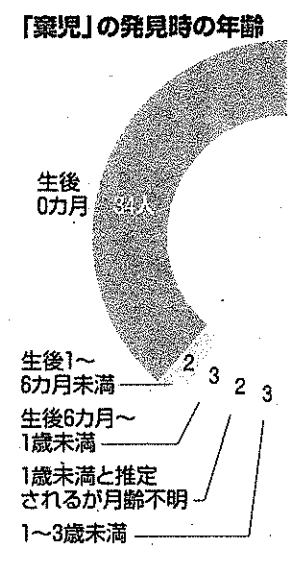
朝日新聞が都道府県などに取材したところ、2013～16年度の4年間に路上などに遺棄された子どもは、少なくとも58人で、うち10人は死亡していた。多くが生後間もない赤ちゃんで、遺棄した人物が判明したケ

主な発見場所

このとりのゆりかごに預けられたケースや非公表を除く

路上	9人
役場や児童養護施設などの敷地	9人
トイレ	4人
公園	3人
民間の医療機関の敷地	3人
その他	各1人
自宅	
川の浅瀬	
マンション脇に置かれた箱	
市営グラウンド	
雑木林	
空き家 など	

朝日新聞の自治体アンケートから



棄の疑いで逮捕された。2人は容疑を認め、警察の調べに「育てられないと思うた」などと供述したという。遺棄は2度目だったことが後に判明した。(盛入彩 27面に続く)

1スの7割は実母によるものだった。妊娠を家族らに打ち明けられず、孤立したまま出産し、遺棄に至ったケースが多いとみられる。遺棄された子どもの保護などを担う児童相談所がある計69自治体(全都道府県と政令指定市、2中核市)にアンケートなどで取材。

「遺棄され、保護された時に親が分からない児童」という厚生労働省の「棄児」(捨てられた子)の定義などに沿って、死亡した子どもも含め自治体が把握している人数や発見場所などを聞いた。発見場所は、路上(9人)、役場や児童養護施設などの敷地(9人)、トイレ(4人)、公園(3人)など。親が育てられない子と

も匿名で預かる慈恵病院(熊本市)の「このとりのゆりかご」に預けられた子どもも19人いた。58人のうち、詳細がわかった44人の中では、41人が0歳児。亡くなった10人を含む34人は生後0カ月児だった。発見時、低体温症など健康状態に問題があった子どもも10人いた。保護後の居場所、里親(13人)、特別養子縁組(7人)、乳児院(7人)など。

遺棄した人物を児相が把握できた25人のうち、実母による遺棄は18人。ほかは実父らによるものだった。一方、身元がわからない子どもが4割弱いた。各自治体に背景や要因を聞くと、「望まない妊娠」

や「経済的に育てられない」、「未婚・非婚」、「家族や親族からの孤立」などを挙げるところが目立った。必要な施策としては、予期せぬ妊娠をした場合の相談支援の充実のほか、里親制度や特別養子縁組制度を推進し、それを周知することを挙げた自治体が多かった。(長富由希子)

予期せぬ妊娠などで、生みの親が育てられない赤ちゃんが、生後間もなく命を落としてしまふ悲劇が後を絶ちません。厳しい境遇のもとで生まれた赤ちゃんを社会で迎え、健やかに育てていく環境が十分に整っているとは言えません。すべての赤ちゃんの命を守り育てていくため、妊婦や生みの親、育ての親への支援を含めて何ができるのか。シリーズ「みんなを守る」で考えていきます。

「しほりへの問あずかっ下下さ。お金は少すすつ払いますのでよろしくおねがいします。もう二度このようなことがないよう反省してします」

午前7時ごろ、隣の施設の職員が見つげ、児相に知らせた。タオルで体をぬぐう児相の女性職員の指を、赤ちゃんはぎゅっと握り返した。置き去りから発見まで1時間近く。命に別条はなかったものの、病院に運ばれたとき、体温は33.9度に下がっていた。

「しほりへの問あずかっ下下さ。お金は少すすつ払いますのでよろしくおねがいします。もう二度このようなことがないよう反省してします」

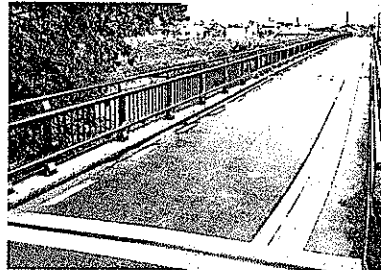
# SOS 母は言えなかった

## 2度の置き去り 生活困窮の末



1面から続く

今年1月、前橋市の児童相談所前に生後まもない赤ちゃんを置き去りにしたとして、母親の女性(28)と内縁関係にある男性(28)がともに逮捕された。だれかが救いの手を差し伸べることはできなかったのか。裁判や関係者への取材によると、2人は約6年前に出会い系サイトを通じて知り合った。同居後、男性は仕事を辞め、女性は風俗店



①女性が第2子を出産した場所。トイレにだり行こうとして間に合わず、橋の上で産んだ。②女性が第3子を出産した公衆トイレ。出産から約半日後、前橋市の児童相談所前に置き去りにした。いずれも群馬県伊勢崎市

で働いて暮らしを支えた。女性には軽度の知的障害があった。実家とも疎遠になっていた。男性は正社員の職を探したが、「何社か(採用試験に)すべて自信をなくしてしまっただ(裁判での供述)という。2011年、最初の妊娠

をした。妊婦健診は受けず、病院に飛び込みで出産した。赤ちゃんは児相に預けられた。その後、生活に困り、インターネットカフェなどを渡り歩くように。生活保護を受けようとする女性が市役所を訪ねたこともあったが、

必要と言われた書類がそろわず、申請できなかった。15年、気をつけていたつもりだったが、第2子を生むもった。今度は病院や児相には相談しなかった。第1子の時、養育費を支払うよう児相に言われたことが気になっていた。秋の夜、

産気づいてトイレに行こうとして間に合わず、橋の上で産み、翌朝、前橋市の児相前に置き去りにした。そして第3子。公衆トイレで出産し、約半日後、児相前に置いた。15年の置き去り後、児相に設置された防犯カメラには女性の顔がはっきりと映っていた。一難にも相談できなかった。つらかったね。逮捕後、面会した精神保健福祉士の原島久美子さん(48)が声をかけると、女性は涙を流した。

## 養子縁組 児相調べたけれど

西日本の山沿いの町。道沿いの雑木林に、紙の米袋が捨てられていた。昨年6月、不法投棄物を回収していた男性が通報。見つかったのは、生まれたばかりの女の赤ちゃんの遺体だった。翌月、雑木林から車で約20分のところに住む30代の母親が死体遺棄容疑で逮捕された。母親の自宅の倉庫から、前年に生まれた「姉」の遺体も見つかった。裁判記録や自治体の検証などによると、母親は既婚だったが、家計が苦しく夫に「もうと話を聞いてほしい」と思っていた。「生活から逃げたい」と、出会い系サイトで知り合った男性と性交渉を重ねた。妊娠に気づいたが、離婚を恐れて家族に相談できず、「引き取ってくれる人がいれば」と思っていた。

予期せぬ妊娠をしても、児相や病院など、どこかに相談すれば何らかの支援につながる、赤ちゃんが遺棄される事態は防げる可能性が高い。だが、東京・渋谷など街頭で若者に声をかけたり、若い女性からの相談に乗ったりしている

るNPO法人・BONDプロジェクト代表の橋本ジュン(46)は、困難な状況なのに自分からSOSを出せない女性たちを多く見てきた。街で出会ったある少女は「妊娠したが相手がわからない」と話し、橋本さんと病院に行く約束をした。しかし、約束の時間に彼女は現れなかった。「自分を否定されたくない」と、相談に抵抗を感じた女性がいる。彼女たちが抱える背景を理解し、時間をかけて信頼関係を築いていくサポートが必要だ。「妊娠で悩む人たちに、対し「待ち」の姿勢ではなく、積極

予期せぬ妊娠などで困った時の相談先

全国妊婦SOSネットワーク  
http://zenninnet-sos.org/  
(各地の窓口へリンク)

BOND(ボンド)プロジェクト  
http://bondproject.jp/  
hear@bondproject.jp

## 妊娠相談 広がる窓口 積極的な声かけ 課題

積極的に声をかけ、SOSに手を差し伸べる「アウトリーチ活動」は、まだ一部の民間団体などに限られている。昨年の児童福祉法改正では、医療機関や学校などに対して、支援が必要と思われる妊婦を見つけたら市町村に知らせるよう努力義務を課した。妊娠相談の専門員を病院などに置くモデル事業も今年度、6自治体で行う予定だ。大阪母子医療センター(大阪府和泉市)は、匿名で妊娠相談を受け、病院や行政への相談に付き添う活動を始めた。センターの相談窓口「じんSOS」では、年間1千人

以上からの相談に応じる。その結果、妊婦健診を受けない「飛び込み出産」や生後すぐの虐待死を防げたこと、みるるケースは、昨年度末までに289件あったと分析する。全国妊婦SOSネットワークによると、自治体の委託などによる妊娠相談窓口は年々増え、全国で40カ所ほど。ネットワークの佐藤拓代表理事(60)は大阪母子医療センター医師は「すべての窓口で十分な対応ができていない」といえない。民間団体と連携しつつ、国として相談やアウトリーチによる支援を行う必要がある」と訴える。(挿入彩)

は判決後、知的障害者のための施設で暮らし、自立した生活を送れるよう準備を進めている。男性も出所者の社会復帰を支援する施設に入った。3人の子どもたちは、施設や里親のもとで育てられているという。原島さんは言う。「人に相談することに慣れていない人が、行政などに自分から話をするのは難しい。児相の前まで赤ちゃんを連れて行ったのは、彼女なりの精いっぱいだったと思う」(挿入彩)

「どうしよう」と時間だけが過ぎ、「姉」を自宅トイレで出産。倉庫に遺棄した。その後も夫以外の男性と性交渉を続け、「妹」を妊娠。自宅トイレで出産し、雑木林に遺棄した。今年1月、姉妹の死体遺棄罪で、懲役2年6カ月保護観察執行猶予4年の有罪判決が確定した。県の担当者は「母親が相談してくれば救えた可能性もあった。困っても相談に来ない人を見て見つけるのが課題だ」と話す。(長瀬由香子)

を知らなかったという。